



大井町議会だより

2020. 11. 1 No.205

ひたろうたん

一般選挙後の初議会を開催……………	2
正副議長他議会の新体制が決まる	
第2回定例会……………	5
8月21日から28日までの8日間	
第3回臨時会……………	10
第4回臨時会……………	11
一般質問 ここが聞きたい(5人) ……	13
町のこの人あの人……………	16

ベルマークを通して

ボランティア活動で教育を支える

みやざき まさえ
宮崎 正江さん



ユニーク賞 トンボの案山子

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp / URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

一般選挙後の初議会を開催

議長に清水豊司議員、副議長に伊藤奈穂子議員を選出

9月13日に行われた町議会議員選挙により、14人の当選が確定し、改選後の初議会となる第4回臨時会が10月2日に開催されました。

出席議員で年長の清水豊司議員が臨時議長となり、仮議席の指定を行いました。

議長選挙の投票前に休憩をとり、正副議長志願者の所信表明会を行いました。この所信表明では、田村俊二議員と清水豊司議員が議長を志すスピーチを行い、伊藤奈穂子議

員が副議長を志すスピーチを行いました。終了後直ちに投票を行った結果、清水豊司議員が議長に当選しました。

次に新議長のもとで、副議長の選挙を行い、伊藤奈穂子議員が当選となりました。

その後、各委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選任が行われました。

また、議会選出の監査委員には、鈴木武夫議員を選任することに同意しました。

正副議長選挙の結果

(投票総数は、ともに14票)

議長選挙

清水 豊司	8票
田村 俊二	5票
大石 舞	1票

副議長選挙

伊藤奈穂子	13票
無効(白票)	1票



副議長
伊藤 奈穂子



議長
清水 豊司

就任のごあいさつ

町民の皆様には、平素より議会に対して、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

私達は、町議会議員選挙後の10月2日に開催された第4回臨時会において、議長、副議長に選出させていただきました。身に余る光栄と同時に、責務の重さに身が引き締まる思いです。

このたびの選挙で議会議員の半数近くの方が入れ替わり、幅広い年代層で議会構成ができた事は、言論の府としての議会が一段と活性化すると思います。

これからも、議員一人ひとりが研鑽に励み、多様化する住民ニーズに答えられるよう、執行機関と町が一体となって町の発展と住民福祉の向上を目指し、議会としての職務を全うして参りますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

議会の新体制決まる

教育福祉常任委員会

委員長 清水 亜樹
 副委員長 田中 正彦
 委員 清水 豊司
 委員 鈴木 武夫
 委員 和田 紀昭
 委員 重田 有紀
 委員 大石 舞



企画経済常任委員会

委員長 鈴木 磯美
 副委員長 牧野 一仁
 委員 伊藤奈穂子
 委員 田村 俊二
 委員 岡田 幸二
 委員 山崎 真弘
 委員 黒岩陣太郎



広報広聴常任委員会

委員長 伊藤奈穂子

広報分科会

副委員長 清水 亜樹
 委員 鈴木 磯美
 委員 山崎 真弘
 委員 和田 紀昭
 委員 黒岩陣太郎
 委員 大石 舞

広聴分科会

副委員長 牧野 一仁
 委員 田村 俊二
 委員 田中 正彦
 委員 鈴木 武夫
 委員 岡田 幸二
 委員 重田 有紀

議会運営委員会

委員長 田村 俊二
 副委員長 鈴木 武夫
 委員 清水 亜樹
 委員 牧野 一仁
 委員 田中 正彦
 委員 鈴木 磯美

議員選出監査委員

鈴木 武夫

足柄上衛生組合議員

清水 豊司
 清水 亜樹

足柄東部清掃組合議員

清水 豊司
 伊藤奈穂子
 鈴木 磯美

大井町議会議員紹介

任期：令和2年10月1日～令和6年9月30日



議席番号 氏名 (年齢)
党派 (当選回数)



1番 おおishi mai 大石 舞 (35歳)
日本共産党 (当選1回)



2番 くろいわ じんたろう 黒岩 陣太郎 (40歳)
無所属 (当選1回)



3番 しげた ゆき 重田 有紀 (42歳)
無所属 (当選1回)



4番 わだ のりあき 和田 紀昭 (44歳)
無所属 (当選1回)



5番 やまざき まさひろ 山崎 真弘 (53歳)
無所属 (当選1回)



6番 おかだ こうじ 岡田 幸二 (63歳)
無所属 (当選1回)



7番 すずき たけお 鈴木 武夫 (67歳)
無所属 (当選8回)



8番 すずき いそみ 鈴木 磯美 (64歳)
無所属 (当選2回)



9番 たなか まさひこ 田中 正彦 (73歳)
無所属 (当選2回)



10番 たむら としつぐ 田村 俊二 (71歳)
無所属 (当選2回)



11番 まきの かずひと 牧野 一仁 (74歳)
無所属 (当選4回)



12番 しみず あき 清水 亜樹 (48歳)
無所属 (当選3回)



13番 いとう なほこ 伊藤 奈穂子 (53歳)
公明党 (当選3回)



14番 しみず とよし 清水 豊司 (77歳)
無所属 (当選5回)

第2回定例会

単位：万円

会計		歳入	歳出	差引
一般会計		60億4,329	56億9,243	3億5,086
国民健康保険特別会計		15億9,868	15億2,240	7,628
後期高齢者医療特別会計		2億2,387	2億767	1,620
下水道特別会計		5億5,354	4億4,218	1億1,136
介護保険特別会計		11億8,664	11億4,728	3,936
水道事業 会計	収益的収支	3億3,615	2億2,692	1億923
	資本的収支	1億4,300	2億8,450	△1億4,150

※金額は端数を調整して、万単位にしています。

令和2年第3回定例会は8月21日から28日までの8日間の会期で開催され、令和元年度の6会計の決算、条例、人事案件、補正予算等の審議をしました。また、行財政全般にわたる一般質問は、5人の議員が登壇し、町の考えを質しました。

一般会計の審査において、決算審査特別委員会を設置し、詳細な審査を行いました。本会議では、委員長報告後、討論があり、賛成多数で認定しました。



決算審査ダイジェスト

一般会計

歳入全般

問 コロナ禍による各事業への影響はあったか。
答 2月3月で多くの事業を実施することができ

なかった。

問 町民税法人分が900万円減となっているが、原因は。また、金額はどのくらいか。
答 大手1社が撤退、金額は約6500万円。

化により653万円減、町営保育所分は760万円減となった。次年度は保育児童が増加すると思う。

問 神奈川大井の里体験観光協会を町長は支援したいとの事だが資金的なことを考えているのか。
答 出資金以外は考えていない。

問 人的支援は数字には出てこないがイベント等には多くの職員が出ている。どこまで支援しているのか。
答 自走化に向けて町は支援していく。

問 今年度はコロナ禍により厳しい状況だと思いが、どのように考えているか。
答 国からの補助などにエントリーしている。また、協会独自で事業を検討している。

問 法人税割税率3段階の収収は。
答 9.7%は2100万円、10.9%は6万円、11.1%は5800万円

で合計7900万円。

問 実質収支3億2000万円をどう考えるか。町長として初めての予算執行、成果は。
答 問題点、課題はあると認識している。

問 協働について、泥フエス・子ども食堂の評価は。
答 団体が主体性をもって行うことが重要。町としての役割を果たしているがそれぞれのやり方やしてもらったことが重要

問 ふるさと納税に係る町内業者数は。
答 足柄上商工会も含めると18社。返礼品は地産地消、業種や品物などを増やしていきたい。

問 他市町へ流出額は1300万円と、多くなってきた。対策は考えているのか。
答 納税サイト、事業者との打ち合わせを行っている。10月を目途に大手町内事業者の製品を調整している。

問 入湯税の税率は。日帰りプランは課税対象か。
答 入湯税は、地方税法の縛りはない。全国91.3%の自治体は標準150円。本町条例で同額を規定。日帰りプランは課税対象外である。

問 町道4・5号線の調査とは。今後のスケジュールは。
答 県道への昇格を検討するために調査し、県と協議できる資料を作成した。秦野大井の路線が整備されたので、町道4・5号線は交通が増えると思込んだ。県は、県道網としてはこの辺は網羅しているとの見解である。引き続き県道への昇格を町の要望としていきたい。

問 コロナ禍における育英奨学金返還者29名について、町の見解は。
答 返還は、就職後1年から始まる。今まで通り、相談していただき、対応したい。



県道への昇格を要望している町道

問 四季の里まつり精算金の説明を。
答 精算金は平成30年度の精算金の歳入である。補正対応できなかったので3月に歳入した。

問 予算計上してあるが、決算にない。また、その逆もある。取り扱いはどうしているのか。
答 補正対応しているが、決算で計上となる場合もある。

問 予算と決算を審査している。できる限り予算計上すべきでは。精算について、対応が違うのはなぜか。
答 庁内統一が必要と思うので検討する。

問 証明手数料においてコンビニ交付の見込との乖離は。
答 令和2年度は57件ある。今後マイナンバーカードの普及に努める。

問 衛生費、ごみ調整会議受け入れ金は職員分か。任期は。
答 南足柄市が事務局で、階級別で2名派遣しており、任期は2年である。本町は1名派遣、任期は1年であった。

問 農業体験施設使用料利用人数は。
答 受入人数は21団体、1236人。

問 ふるさと劇団入場料を500円とした理由は。
答 自立した事業とするため有料とした。内容の充実を図っていききたい。

問 基金利子が増になった理由は。
答 10年証券の利息と、1年限定の利率の良い定期預金に預けたため。地方債の購入を今後も検討する。

問 町営住宅・駐車場使用料減の理由、5000円の料金設定は。
答 4世帯の退去があつたため。料金設定は適正と考えている。

問 し尿手数料過年度分の内容は。
答 平成30年度以前の分9件である。他は全て徴収済で未納はない。

問 町長交際費が前年比30%減だが町長の活動方針が変わったのか。
答 コロナ禍により事業が減ったことと香料が少なかった。

問 公有財産で借地料が相当な額だが、購入する考えはないか。
答 3世代住宅取得補助が前年の半額だが、消費税値上げで住宅取得者減と考える。

問 移住・定住施策の広報やホームページ以外の周知方法を考えているか。
答 有楽町ふる里帰センターへのPRなどを行っている。また、転入時に窓口で案内をしている。

問 お試し住宅の収支がマイナスだが、すでに4年経過しているが次の施策はあるのか。
答 コロナ禍により首都圏の人が、テレワークが出来るとのことで、現在2軒とも入居している。

問 空き家バンク等へ働きかけが必要ではないか。
答 不動産協会、宅建協会と協定を結んだ。

問 不育症治療の実績が無い。周知方法として病院にチラシはあるか。
答 ホームページ、広報で周知している。産科医等には県のリーフレットがある。

問 ファミリーサポートセンターの支援員を増やす手立ては。
答 利用者が支援員になることもあり声かけしている。

問 フェイジョアの栽培拡大と商品開発を行い、販路拡大を図ったことがあるか。また、栽培者にどのようなメリットがあったか。
答 生食と加工品として出す方法をとっているが、生食は出荷期間が短いので加工品に力を入れている。

問 一時的に大きな支出をする事になるので案件ごとに検討する。

問 3世代住宅取得補助が前年の半額だが、消費税値上げで住宅取得者減と考える。

問 公有財産で借地料が相当な額だが、購入する考えはないか。

問 不育症治療の実績が無い。周知方法として病院にチラシはあるか。

問 ファミリーサポートセンターの支援員を増やす手立ては。

歳出全般



第2回定例会

- 問** 新体制で実施されたひょうたん祭り。実施にかかった職員の人件費は。
- 答** 基本は代休。99万4120円が超過勤務。
- 問** 課題と今後の取組みは。
- 答** 町民主体のチームが減っている。参加してもらえない仕組み作りが必要。参加する自治会には補助金を支給、また、学生にも活躍してもらい新しいひょうたん祭りを創出していきたい。
- 問** 協賛金の募集にあたり商工会長名で良いのか。
- 答** 商工会からの協賛金として実行委員会は受けた。今後精査する。
- 問** 相模金子駅前公園トイレの中の暑さ対策を考えているか。
- 答** バリアフリー等の利便性を優先したので暑さ対策はしていない。
- 問** わな猟、猟友会の今後は。
- 答** いずれも高齢化。若年層に従事してほしい。若年層に補助金を支給



新築された相模金子駅前公園トイレ

- している。ジビエについても1市5町で協議している。
- 問** 郷土資料館の農具展示の実績が無いなら存在価値があるのか。
- 答** 経常経費はかかっており費用対効果を検討する必要はある。四季の里など全体での活用を検討する。
- 問** 母子保健推進委員謝礼年間1万円だが処遇改善は。
- 答** 今後は活動に見合った金額を検討したい。

- 問** 道水路改良109号工事は東電の電柱が移設できなかったことにより5月23日に完了した。年度末に完了見込みができない場合次年度の工事にしないのか。
- 答** 繰越事業も検討したが東電の返事がはつきりせず明確に判断できなかった。反省している。
- 問** 消防団の発電機は災害時にも活用できるようにするのか。
- 答** 必要なものを整備していく。

- 問** 給食センター非常勤賃金減額の理由は。
- 答** 育児休業復帰に伴い代替え職員の減。3月の臨時休校のため等。
- 問** コロナによる影響で休んだ方への休業手当は。
- 答** 緊急事態宣言後については休業保障した。

国民健康保険特別会計

- 問** 前年度に比べ不納欠損額が増額しているが、処分した件数と内容は。
- 答** 43名を処分した。うち40名は時効で、3名は徴収する財産がないことから処分した。
- 問** 未納者に対しての短期証や資格証の発行人数は。
- 答** 短期証は81世帯で資格証は1世帯に発行している。
- 問** 財政調整基金残高が多くなっているが、基金残高に対してどのように考えているか。
- 答** 令和2年度の補正での積み立を含めると基金残高は約4億円となり、非常に多くなっている。被保険者に対して何か還元できないか現在考えている。
- 問** 普通徴収と特別徴収の割合は。
- 答** 特別徴収は20.2%で、それ以外が79.8%となっている。
- 問** 保険証は県統一なのか、町独自の保険証を作成することは可能か。
- 答** 記載の条件があるが、独自のものを作成することは可能である。

後期高齢者医療特別会計

- 問** 現在の保険証は、紙で不便なことがある。工夫したものができないか。
- 答** 現在のものは、即日発行ができ、コストも安い。今後マイナンバーカード利用等も踏まえ検討する。
- 問** 特定健康診査の受診率が29.39%と若干伸びているのか。
- 答** 決して高い受診率とはいえない。受診率が高くなるよう方策を考えていく。
- 問** 保険料の収入未済額が10万1千円ほどあるが、何人分か。
- 答** 7名分。
- 問** 後期高齢者医療保険の収納率が99%と高い理由は。
- 答** 制度上、保険料が低いことが理由ではないかと考えている。

下水道事業特別会計

問 排水施設管理費の管
維持費の内容は。

答 主にカメラによる調
査や汚水柵の修繕、管渠
清掃の費用。

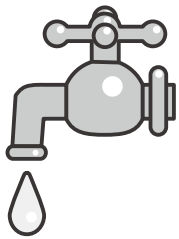
問 カメラ調査などを
行っているが、大きな修
繕箇所があったのか。

答 カメラによる調査結
果は、A B Cの3ランク
に分けている。老朽化の
順で、Aが18箇所、Bが
11箇所、Cが5箇所あり、
補修をしていく予定だが、
至急行う状況にはない。

問 今後、Aランクを注視し
て維持管理に努めて行く。

問 地下水等が下水管に
入ると流量が増え、負担
額が増える状況ではない
のか。

答 調査の結果から地下
水等が入る状況にまで
至っていない。



介護保険特別会計

問 令和元年度の介護認
定者数は659人だが、
今後の推計は。

答 将来推計については、
現在、第8期介護保険事
業計画を策定中であり、
その中でお示ししたい。

問 本町の介護保険料は、
近隣市町と比較して高い
のか。

答 現在、月額の標準額
は、4800円と県内で
3番目に低い。今後第8
期計画の料金改定時には、
極力被保険者の負担とな
らないよう設計していく。

問 施設介護サービス給
付費3千8百万円を補正
し流用しているが、いつ
ごろ認識して補正したの
か。

答 3月の段階で各種
サービスの給付状況の中
で、今後、施設介護サー
ビスが延びる傾向が見ら
れたので、その時点で補
正をした。

問 流用することなく、
補正すべきではないか。

答 施設介護サービス費
については、お一人の方
が利用しただけで高額と
なり見込みが難しく、結
果的に流用した。今後は
流用がないよう努めたい。

問 介護認定者数に対し
て受給者と数の差があり、
状況を把握しているのか
と昨年指摘したが、その
後どのような対応をされ
たのか。

答 様々なケースがある
が、今後認定を受けた方
には、職員や外部のケア
マネを通じて、対応を検
討していく。

問 保険者として、受給
されていない方の状況を
個別に確認すべきだが見
解は。

答 状況は把握している
ので、見直しをし介護度
が高いのに受給されてい

ない方に対しては対応し
ていく。

問 通所サービス事業費
のはつらつ俱樂部につい
ては、利用実績が延びて
いるが、今後どのように
考えているのか。

答 はつらつ俱樂部、お
くい元気会は本町の看板事
業と考えており、一層取
組んでいく。

問 相和地区に関しては、
送迎をしているが夏の時
期は、金田地区なども送
迎をすべきと考えるが。

水道事業会計

問 料金改定をして2年
目となるが、当初見込
だ通りの利益となってい
るのか。

答 概ね見込み通りの数
字で決算を迎えられた。

問 料金改定時には、老
朽管の更新は含まれてい
ないとのことだったが、
今後、老朽管の更新計画
の予定は。

答 今後、老朽管の更新
計画を策定し来年度、シ
ミュレーションしていく。

問 料金改定以前の流動
比率は、55%ほどと非常
に厳しい状況であったが、
2年目で改善してきた。

答 主に委託料や資産減
耗費の減額が原価に反映
した。

問 給水原価と供給単価
の差が大きくなってきた。
内部努力の結果か。

答 主に委託料や資産減
耗費の減額が原価に反映
した。

問 給水原価と供給単価
の差が大きくなってきた。
内部努力の結果か。

答 主に委託料や資産減
耗費の減額が原価に反映
した。

決算審査特別委員会

令和元年度決算審査にあたっては、本会議の一般
会計決算審議において、議長発議により特別委員会
が設置され、企画経済・教育福祉常任委員会よりそ
れぞれ4人を選出し、合計8人の委員会が組織され
8月25日に詳細な審査を行った。



- | | |
|-------|--------|
| 委員 長 | 牧野 一仁 |
| 副委員 長 | 伊藤 奈穂子 |
| 委員 | 石井 勲 |
| 委員 | 曾根田 徹 |
| 委員 | 清水 亜樹 |
| 委員 | 田村 俊二 |
| 委員 | 神保 京子 |
| 委員 | 鈴木 磯美 |

令和元年度 一般会計決算 討論

町民のためになる見直しを求める

反対討論

曾根田 徹

町歳入の町税では、前年度と比較した場合、現年課税の個人分は約9億536万円で約1550万円の増額となったが、法人分は約1億3670万円で約9245万円と減額となり、一般寄附金では返礼品の問題点から約3734万円で約1億8239万円の減額となっている。固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税などは、大きく変動はしていないが町の景気としては厳しい状況である。

小田原斎場PFI株式会社が昨年7月より運営を開始し、近隣との平等性の観点から1体3万8千円の補助金を6月で止めたことで1体1万2千円の自己負担をすることになったが、町独自の政策として補助金を出し町民の負担軽減に努めるべきと考える。

山田総合グラウンド指定管理料は、賃金、消費税率が上がったことで約36万円の増額となった。現在3年目で来年の3月31日で契約期間の終了となり、今後の契約については検討中であるとしているが、この指定管理者からは、多目的グラウンド利用料金の上限として、1時間1千円まで徴収ができることから、教育委員会に利用料金徴収の申入れをおこない承認を受け、令和2年4月1日から利用料の徴収が出来るようにした。また、減免対象となる場合がありますと記載があるが、今まで無料で利用ができた多目的グラウンドが指定管理者になり、3年目から利用料徴収を許す考えには納得はできないので反対とする。

健全な財政運営を評価

賛成討論

田中 正彦

決算で最も重要視しているポイントは、1年間の執政の結果、財政状況がどのような状況であるか、将来に禍根を残すような状況に陥っていないかである。これらを数値で見ると、経常収支比率は85・0%、前年度からは1・91ポイントの悪化となったが、実質公債費比率は、前年度より0・9ポイント改善されており、健全な状況であると認められる。また、将来負担率については、引き続きマイナスの数値となり、将来世代に負担を強いる状況ではなく、健全な財政運営がなされたと評価する。

歳出では、大井町成長戦略の着実な推進がなされた。まず「教育・保育環境の充実」では、大井小学校北棟改修工事を実施するなど、安全性の確保と快適な環境づくりに積極的に取り組んでいる。「産業立地と居住環境の創出」では、大井町中央土地区画整理組合へ補助金が交付され、また、まちづくりワークショップで提案されたイベントを実施し、町民との協働によるまちづくりが図られた。「相和ブランドの創出」では、食と交流体験ブランド化促進事業、ニールリーダー養成事業が実施され、また、神奈川大井の里体験観光協会の自立に向けた支援が行われた。引き続き、町の強みを町内外に発信し、事業を推進していくことを期待する。「次世代産業の共創と連携」では、様々な未病関連事業が行われているが、未病に関しては、未知数の可能性を秘めている事業であることから、今後の事業展開に期待する。

今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、行政運営に支障をきたすことが懸念されるが、今後は、アフターコロナ、ウィズコロナ時代に対応した事業が展開されることを期待し、賛成討論とする。

条例

大井町税条例の一部を改正する条例について

(賛成全員)

*軽自動車環境性能割を課さない期間を令和3年3月31日迄に改めるもの。

大井町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

(賛成全員)

*個人番号に係る通知カードに関する事項が削除され、手数料を徴収することがなくなつたため改正するもの。

問 国は5月に法改正しているのに6月定例会で提案せず今回提案された理由は。
 答 近隣の町に合わせた。大井町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について

(賛成全員)

*主任介護支援専門員の確保が著しく困難である等やむを得ない理由がある場合においては、介護支援専門員を同項に規定する管理者とすることができる。

問 町内対象事業所数は6事業所。

答 6事業所。

問 主任介護専門員を管理者として選任できている事業所数は。
 答 現時点で、3事業所。

補正予算

一般会計

(第5号)(賛成全員)

*歳入では地方特例交付金・地方交付税・教育費国庫補助金の増額確定と、財政調整基金繰入金の減額、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険への繰入金増額。有価物売上収入の減と、保健センター防水・農業用水路・道路改良の各種地方債の発行中止。そして臨時財政対策債の増額補正等。歳出は新型コロナウィル

ス感染症緊急対策事業に関連する費用、山田総合グラウンド指定管理に伴い営業補償費、上大井小学校水道管漏水原因調査委託費等。

国民健康保険

(第2号)(賛成全員)

*歳入は決算認定に伴う繰越金と国庫支出金の計上。歳出は基金積立金と繰入金増に伴う予備費減額。

後期高齢者医療

(第1号)(賛成全員)

*歳入は決算認定に伴う繰越金の減額と滞納繰越金増。歳出は、広域連合納付金と繰入金増の増額。

介護保険

(第1号)(賛成全員)

*歳入は支払基金交付金増額と決算認定に伴う繰越金増額。歳出では各種給付費の財源更正と、基金積立と国への償還金・一般会計へ

の繰出金の増額。

人事

大井町教育委員会教育長の任命について同意を求めること

(賛成全員)

*夏苺一壽氏は任期満了となるので再度選任するもの。

夏苺一壽氏

(再任 上大井)

大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること

(賛成全員)

*小島茂子氏は任期満了となるので再度選任するもの。

小島茂子氏

(再任 篠窪)

工事請負契約の締結

道路改良工事

(町道501号線)

(賛成全員)

*指名競争入札の結果、(株)鈴木土建工業が5658万4千円で落札したため、契約締結の承認を求めもの。

湘光中学校グラウンド改修工事(令和元年度繰越事業)

(賛成全員)

*指名競争入札の結果、(株)スポーツテクノ和広が1億2177万円で落札したため、契約締結の承認を求めもの。

問 工事は、体育授業や部活動に配慮して実施されるのか。

答 工事は、全面で行われ、授業は、前倒ししての実施や、近隣の小学校の借用を検討している。

意見書

新型コロナウイルス感染症の影響にともなう地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求め意見書について

(賛成全員)

第3回臨時会

*新型コロナウイルス感染症の拡大は、国民生活へ甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、地方自治体では喫緊の財政需要への対応・長期的な感染症対策を講じている。こうしたことから、今後、地方税・地方交付税の大幅な減少等により影響も予想され、地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ継続的に提供していくため、地方税・地方交付税等の一般財源の確保・充実を国に求めるもの。

7月20日に開催され、補正予算、工事請負契約の締結等の議案を審議しました。

補正予算

一般会計

(第4号)(賛成全員)

*歳入は、財政調整基金の繰入。歳出は、新型コロナウィルス感染症緊急

対策として実施する事業と中学校のパソコン教室の空調設備改修工事を計上するもの。

問 小規模事業者等家賃支援給付金について、積算の根拠と対象となる事業者は。

答 給付金は、30万円、80事業者を予定している。対象事業者は、国の支援金の給付を受けていない事業者である。

工事請負契約の締結

中央監視盤更新工事

(賛成全員)

*指名競争入札の結果、荏原商事(株) 神奈川営業所が1億956万円で落札したため、契約締結の承認を求めるもの。

問 テレメーターで役場でも監視できるのか。

答 職員の携帯等に異常や故障の内容を記述したメールが配信される。

(仮) 大井中央公園整備工事 (賛成全員)

*指名競争入札の結果、(株) 加藤工務店が1億2870万円で落札したため、契約締結の承認を求めるもの。

物品購入契約の締結

小・中学校児童生徒用PC端末等購入 (賛成全員)

*指名競争入札の結果、入札に応じたのが1社であり、不調となったため入札に応じた(株) JMC 神奈川中央支店に見積を徴収したところ、6438万690円で落札したため、契約締結の承認を求めるもの。

問 1人1台配置されたら学校の授業はどのようなになってくるのか。

答 端末を効果的な活用をする中で授業もさらに深い学びにつながっていくと考えている。

問 リースという方法も

選択肢になかったのか。
答 リースも検討したが、リース料率がかかり高くなることと、今後、国が手当をしてくれるかが問題であった。

第4回臨時会

人事

大井町監査委員の選任について同意を求めること (議員)(賛成全員)

*議員選出の監査委員の任期満了により、新たに選任するもの。

鈴木 武夫 氏

(新任 金子)

大井町監査委員の選任について同意を求めること (議員を有する者)

(賛成全員)

*北村公男氏は任期満了となるので、再度選任するもの。

北村 公男 氏

(再任 金子)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
- 5 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年8月28日

神奈川県大井町議会

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対 欠は、欠席した議員
細田勝治議長は、採決に加わりません。

定例会・ 臨時会の別	議案 番号	議員名（議席順）と 審議結果 議 案 名	鈴木	田中	神保	田村	牧野	熊田	清水	伊藤	曾根	瀬戸	北村	清水	石井	審議 結果
			磯美	正彦	京子	俊二	一仁	和人	亜樹	奈穂子	徹	和雄	正夫	豊司	勲	
第3回臨時会	47	令和2年度大井町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	48	工事請負契約の締結について (令和2年度中央監視盤更新工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	49	工事請負契約の締結について (令和2年度(仮)大井中央公園整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	50	物品購入契約の締結について (令和2年度小・中学校児童生徒用PC端末等購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第3回定例会	51	大井町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	52	大井町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	53	大井町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する 基準等を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	54	令和2年度大井町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	55	令和2年度大井町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	56	令和2年度大井町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	57	令和2年度大井町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	58	大井町教育委員会教育長の任命について同意を求めること	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	同意
	59	大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	同意
	60	工事請負契約の締結について (道路改良工事(町道501号線))	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	61	工事請負契約の締結について (湘光中学校グラウンド改修工事(令和元年度繰越事業))	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	62	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な 悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	認定 1	決算認定について(令和元年度大井町一般会計)	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	認定
	認定 2	決算認定について(令和元年度大井町国民健康保険特別会計)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定 3	決算認定について (令和元年度大井町後期高齢者医療特別会計)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定 4	決算認定について(令和元年度大井町下水道事業特別会計)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定 5	決算認定について(令和元年度大井町介護保険特別会計)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	認定	
認定 6	利益の処分及び決算認定について (令和元年度大井町水道事業会計)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	認定	

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
-は採決に加わらなかった議員
清水豊司議長は、採決に加わりません。

定例会・ 臨時会の別	議案 番号	議員名（議席順）と 審議結果 議 案 名	大石	黒岩	重田	和田	山崎	岡田	鈴木	鈴木	田中	田村	牧野	清水	伊藤	審議 結果
			舞	陣太郎	有紀	紀昭	真弘	幸二	武夫	磯美	正彦	俊二	一仁	亜樹	奈穂子	
第4回 臨時会	63	監査委員の選任について同意を求めること(議員)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	64	監査委員の選任について同意を求めること(識見を有する者)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

ここが聞きたい 一般質問



買い物支援として、移動販売などに
取り組むべきと考えるが

答 試行結果を踏まえて検討を進めていく



清水 亜樹 議員

問 本町において、今後の高齢化率の推計は。

町長 2025年に29・0%となり、2040年には、36・5%となる。

問 国は、2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築を目指しているが、その中の生活支援の本町の取組みは。

福祉課長 生活支援体制の整備、強化が重要な課題である。町社協などと連携し、生活支援コーディネーターによる困りごとなどの調査を行い、移動販売車の試行巡回や移送サービス、食事のサービス、生活応援隊などの取組みを進めている。

問 買い物弱者とされている多くの方が高齢者だが、買い物支援として、官民連携による移動販売などに取り組むべきと考えるが。

町長 現在、生活支援体制事業を町社協への委託

により実施しており、本町の生活課題として、「買い物に困る」という問題を発見し、今年度5月から7月にかけて、関係団体の協力により移動販売車の試行巡回を行った。今後は、課題や利用者の意見をもとに、新たな形態による買い物支援策を試行する予定である。

問 まずは、相和地区から先行して実施すべきと考えるが、新たな形態による買い物支援策とは。

福祉課長 集合してスーパーに買い物に出かける、買い物ツアーを社協が試行的に実施するよう進めている。



試行的に行われた移動販売の様子

災害時避難場所のウイルス感染防止対策について

【答】 神奈川県ガイドラインを参考に 対応を図っている

神保 京子 議員



【問】 災害時避難場所のウイルス対策は。 **防災安全課長** プライベートルーム、室内テント、クイックパーティション、簡易隔離用間仕切り、大型扇風機を各避難所に設置する。避難所の設営について職員訓練実施する予定。



災害時避難所に設置される プライベートルーム

【自治会担当職員制度について】

【問】 自治会担当職員制度が始まり、一年となるが、スタート時や担当職員変更の際に、自治会との話し合いの方法は。

【協働推進課長】 年度初めの自治会長会議時に担当職員との顔合わせを行った。また人事異動で変更があったところには連絡を入れている。

【問】 自治会活動に必要な行政情報伝達方法は。

【協働推進課長】 町広報やホームページ等で行っているが、今年は、他の自治会の活動状況等の情報を提供した。現在コロナ

禍にあり、地域巡視もできていない状況である。

【総合体育館や学校体育館予約申し込みについて】

【問】 町体育館の予約を入れて、今回のコロナ対策で学校体育館が利用可能になった場合の対策は。

【生涯学習課長】 総合体育館のキャンセルを認めること。体育館1予約につき1回の変更を認めることは出来ないか。

【教育長】 町体育館はとりあえず取っておく的な考えをする方もあるのですが、更には認められないが、期限を設ける中で検討する。

高齢者等へのインフルエンザ 予防接種の負担軽減を

【答】 今後の状況により検討

伊藤 奈穂子 議員



【問】 秋以降のインフルエンザの流行を見据え高齢者等への予防接種の自己負担額を軽減することは。

【町長】 現時点では考えていないが、今後の新型コロナウイルスの感染状況を含め近隣市町の実施状況等により検討、対応していく。

【問】 新型コロナウイルスの影響で定期予防接種の期限を過ぎてしまった子どもを対象に期限を延長する考えは。

【町長】 柔軟に対応する。コロナ禍において児童・生徒への心の教育としてスクールカウンセラーの充足が必要では。

【教育長】 大井町は、かなり手厚く対応している。

【コロナ禍における避難所運営】

【問】 コロナ禍における避難所での受入れは、高齢者や基礎疾患のある方、障がい者や妊産婦等、優先的に避難させる人を事前に検討すべきでは。

【町長】 屋内用テント等利用し避難所内での感染リスクを少しでも減らす努力をする。また、早めの避難行動をとってほしい。

【問】 大井高校の他に、避難場所として民間の企業との協定や連携は。

【防災安全課長】 検討する。ローリングダストクック法やパッククッキングなどをPRしては。

【防災安全課長】 今、具体的なメニュー作りを研究している。

【地域公共交通について】

【問】 今後のスケジュールは。

【町長】 今年度6月に国から補助金の交付決定を受け、8月以降にアンケート調査、地区別ヒヤリング、町民ワークショップを実施し地域公共交通計画の素案を策定し来年度以降予定している実証運行計画を策定する。



厚生労働省のリーフレット (2014年版)

職員採用地元優先は

答 採用基準から適切でない

石井 勲 議員



問 職員採用において災害時や税金面で地元住民を優先的に採用の考えは、
町長 現在職員は41・5%が町内在住者で心情的には共感するところがあるが公正な採用基準からは適切でない。
問 都市計画道路金子開成和田河原線（町道9号線）の進捗状況は、
町長 県は路線用地測量、鉄道交差部の概要・詳細設計、物件の移転調査・



越水住民被害の元凶水門（上大井二方堰水門）

用地買収。
問 町は作業ヤードの用地買収等、おおむね順調。国道255号坊村交差点から町道1号線までを優先的に施工予定。
問 水路・道路の交差等地元との協議は、
都市整備課長 農業用水路があるので支障がないよう、道路交差に関しては秋口以降警察・公安と協議していく。
問 7月の豪雨による上大井、酒匂堰溢水に対して、住民被害と水門管理その後の対応・対策は、
町長 酒匂堰の越水は水位計の故障により自動開門機能の停止と、水門管理人の開門遅れによる越水。地元被害は家屋の床下浸水と納屋・農地への浸水が確認された。水位計の修理は管理者である県に確認、今年度中を予定していたが時期を早め対応するとの回答を得た。水門の開閉については引き続き注視していく。
問 地元企業に優先発注をすることが地域経済の活性化と企業育成につながるのでは、
町長 地理的には町内に本社営業所がある、業者選定に於いては、できる限り町内業者に発注できるように取り組んでいる。
問 災害時対応の、住民避難保険に加入の考えは、
町長 費用対効果等を検証していきたいと考える。

相和地域活性化への取り組みは

答 町内全域での活性化を図っていく

瀬戸 和雄 議員



問 公営獣肉処理施設の開設に向けての状況は、
町長 足柄上地区1市5町の有害鳥獣対策担当課長及び担当者において、令和2年1月に「食肉処理施設整備検討会議」を設置し、検討を進めている。
問 公営獣肉処理施設の建設をどのように考えているか、
町長 広域の枠組みの中効果的な運営が可能となる場所の選定が必要であると考えている。なお、各市町における取り組みや検討結果も併せ、適地の選定に慎重に検討を進めて行く。
問 下山田から赤田を結ぶ町道501号線の完成予定は、

都市整備課長 赤田区間全体工事については、本年度から4年間、国の社会資本整備総合交付金を受けながら、令和5年度末の完成を目指している。
問 現在、エバラ食品研究所の先から通行止めになっているが何故か。今後の見通しは、
都市整備課長 令和2年度から赤田区間の工事が始まる事や、完成している所の安全対策が出来て

いないことを考慮している。又、本年度設置すべき標識類、区画線の施工を行ない、安全な通行が確保出来次第、年度途中になると思うが、通行止めを解除する予定でいる。
問 町道4号線を県道として改良する件について
都市整備課長 県道は全県との協議の進捗状況は、今現在では満たされており、町道からの昇格で県の所管とする考えはないとのことだが、町として将来的には国道246号のバイパス完成に伴う交通量の増加を見込み、まちづくりの観点からその必要性について今後も県との協議を進めたいと考えている。



開通が待たれる町道501号線

● 町のこの人あの人 ●

ベルマーク通じて

ボランティア活動で教育を支える



市場地区
みやざき まさえ
宮崎 正江さん

町内でボランティア活動をしている宮崎正江さんを紹介する。
●宮崎さんは長野県で生まれ育ち、高校卒業後は東京の会社に勤めていたが、その後、縁があり大井町に移り住むことになった。

●ボランティアを始めるきっかけは、遠距離で親の世話を2年間行い、その後、お世話になった介護について何も知らなかったため、私でも何か出来ないかと大井町で行っていることを調べたり、知人、友人から声をかけ

●会の名前はないが、ベルマーク運動は現在14人のボランティア会員で、児童、先生が集めたベルマークを企業、点数ごとに仕分けして点数を集計しているが、中にはゼロテープで台紙等に貼付けてあり剥がしたり、ハサミで切り分けたりと大変な作業をされている。また、協力・協賛会社は50数社で商品に付いている点数を集めるだけではなく、インクカートリッジ、テトラパック製の紙パック、保険等も

●最後に、趣味は旅行だが、別所温泉にある旅館花屋に泊まりたいと語られていた。



ベルマーク仕分け作業風景

て頂きベルマークの整理、きんもくせいなどのボランティアに参加をする。宮崎さんも股関節に障がいがあることから、障がい者で苦勞している方たちとの交流、相談にも取組むようになった。

●当時、きんもくせいでは栄養士さんが献立を考えたのを作り、独居で暮らす方への配食サービスや会食会を手伝っていたが、利用、参加する人が、宮崎さんより年下が多くなったので今年3月で辞めたとのこと。

町政を知る良い機会です

議会傍聴にお越しく下さい

12月2日(水)午前9時 第4回定例会開催

問合せ先：議会事務局 ☎85-5000 FAX85-3936



新たな広報分科会メンバー
(委員氏名は、P3に掲載)

伊藤 奈穂子

9月13日の町議会議員選挙で定数14の議席が確定し、初議会にて広報分科会のメンバーも決まり新体制でのスタートとなりました。

今回の選挙において半数の議員の入れ替わりがあり、改めて町民の皆様へ信頼され付託に答えられる議会、また議員であることが求められています。議員ひとり一人が責任ある言動を心がけ資質の向上に日々努力することが肝要です。

このことを踏まえ、広報分科会では議会、だよりやホームページ等を通して、分かりやすく、正確な情報を発信できるよう取り組んでまいります。

編集後記